



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・プレ
プリント・編集後記・目次・裏表
紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙
ほか. 物性研究 1967, 8(4): 267-275

ISSUE DATE:

1967-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86053>

RIGHT:

昭和42年7月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第8巻第4号

vol. 8 no. 4

物性研究

1967 | 7

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ, 下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大, 花文字, ギリシヤの指定を忘れないように。o と a と 0 (ゼロ), u と n と rr, c と e が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P : 400字詰原稿用紙による頁数
X : 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスのプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ, 下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大, 花文字, ギリシヤの指定を忘れないように。o と a と 0 (ゼロ), u と n と rr, c と e が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P : 400字詰原稿用紙による頁数
X : 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニ ュ ー ス

○ 人のうごき

久 保 亮 五 氏（東大久保研）

6月14日～7月12日まで海外出張。6月15日～20日に行われる
“Nordita Conference on Statistical Physics”に出席される。
又6月26日～30日に開かれる Conference Internationale
“Physique Theorique et Biologie”にも出席される。

渡 辺 宏 氏

大阪市大理学部に教授として来られた。群論とその応用の講義をされている。

飯 田 武 氏

大阪市大理学部に助手として来られた。

プレプリント案内

〔東大久保研〕

- s-d Exchange Interaction in the Superconductor.

(Soda, Toshio)

- On the Interference Effect in the Theory of Transport Phenomena. (J. Hajdu and H. Keiter)
- Many-Body Corrections to Optical Absorption in Metals.
(Robert A. Weiner)
- Quantum Spectroscopy of the Low Field Oscillations of the Surface Impedance. (Tsu-Wei Nee and R. E. Prange)
- On the Equilibrium States in Quantum Statistical Mechanics
(R. Haag and N. M. Hugenholtz and M. Winnink)
- Quantum-Statistical Theory of Irreversible Processes. II
The Character of Closed Macroscopic Laws (G. L. Sewell)
- Transport Phenomena in the Simple Metals.
(R. E. Prange and A. Sachs)
- Quantum Limit Galvanomagnetic Phenomena in N-InSb.
(O. Beckman, E. Hanamura, and L. J. Neuringer)
- Sum Rules, Kramers-Kronig Relations, and Transport Coefficients in Charged Systems. (Paul C. Martin)
- Anomalies due to s-d Interaction at Lowest Temperatures in Dilute Au-V Alloys. (K. Kume)

〔日大理工物理〕

- Quantum Theory of Superfluid Vortices. I. Liquid Helium II.
(Alexander L. Fetter)
- On a Mechanism of the Formation of a Mesic Deuterium Molecular Ion. (E. A. Vesman, in Russian)
- The Thermophysical Properties of Some Multilayer Insulations at Cryogenic Temperatures. (L. B. Golovanov)

- Effect of a Static Magnetic Field on a Superconducting Millimeter Cavity Resonator.

(L. DiPaolo, G. Baldacchini and V. Montelatici)

- An Iterative Method for Obtaining a Polynomial of the Best Approximation. (A. A. Korneichuk and N. Yu Shirikova; in Russian)

- Standard Programs Used in the Monte-Carlo Method.

(L. A. Kulyukina, G. A. Ososkov, R. V. Polykova G. I. Semashko; in Russian)

[阪大基礎工永宮研]

- Antiferromagnetism in Chromium Alloys; Transport Properties. (A. L. Trego and A. R. Mackintosh)
- Exchange Contribution to the D-Parameters of Fe^{3+} and Cr^{3+} in Europium Gallium Garnet.

(M. Tachiki and Z. Sroubeck)

- Phonon Induced Ion-Ion Coupling in Paramagnetic Salts.

(R. Orbach and M. Tachiki)

[阪大理学部金森研]

- Antiferromagnetically-Coupled Impurities in a Heisenberg Ferromagnet. (Yung-Li Wang and Herbert Callen)
- Microwave Absorption Phenomena in Rare Earth Metals.

(D. M. S. Bagguley and J. Liesegang)

- Mossbauer Evidence for a Spin-Compensated State in Dilute Fe-Cu Alloys. (R. B. Frankel, N. A. Blum, B. B. Schwartz and D. J. Kim)
- Low-Temperature Resistivity, Specific Heat and Susceptibility due to a Localized Spin in Metals. (J. Kondo)
- Note on the Yosida-Type Singlet Bound State. (J. Kondo)

[芳田研]

- Mossbauer Evidence for a Spin-Compensated State in Dilute

プレプリント案内

Fe-Cu Alloys (R. B. Frankel, N. A. Blum, B. B. Schwartz
and D. J. Kim.)

- Theory of S-D scattering in dilute magnetic alloys with
Spin half impurities (H. J. Spencer)

編 集 後 記

(その1) 本年4月より「物性研究」の京都編集委員の1人になりました。最近号を通覧し昔の白い表紙にガリ版の「物性論研究」と比較してみると、残念ながら内容の面白さに欠けることがあるのは否定出来ないようです。近年(邦文のものも含めて)物理関係の専門雑談の数(及ぶページ数)は増加の一途を辿っています。又物性研、基研其他で開催される研究会の数も多くなりました。内外に於ける物理に関する information が増大しているとき(此も広い意味に於て科学の巨大化のせいだと思いますが)「物性研究」が有意義ある雑誌になるよう全国の研究者の方々が守り立てて下さることが必要であると思います。若い研究者の方々のより積極的な投稿、理論家に問題を提起するような実験家の方々からの投稿なども期待しています。(S.T)

(その2) 中嶋先生の講義ノートは今月で最終回です。中嶋先生及びノートを作成して下さいました方々に感謝の意を表します。物性研究は、紙数の多い号や少ない号を重ねながらも、熱心な方々の支持により、他のいわゆる商業雑誌には見られない個性のある雑誌として続いて来ております。然し、従来のオリジナルな論文、講義ノート、研究会報告等に限らず、研究活動に関連の深い身近な問題、例えば科学研究費配分の際の「伏見原則」、日米科学協力、物性研の将来計画といったような問題について、個人的又はグループの御見志をざつくばらんに投稿され、討論されるような雑誌であつてもよいのではないかと考えております。(T.M.)

(その3) 先月号で目次の頁数に誤りがありましたが校正の手落ちでした。お詫び申し上げます。(校正担当)

(表 題) 「軍関係資金問題に関する
物理学会総会要求について」

(投稿者) 「軍関係資金問題に関する
物理学会有志の会 東京事務局」

- ① このたび、下記のように、軍関係資金の問題に関して物理学会総会を開いて決議を行う運動をはじめました。総会要求の署名は7月7日で〆切る予定ですので、本誌の発行には間に合わないかと思ひます。しかし、総会に向けて研究者の間の討論のために、この誌上を借りるしだいです。

——アピール——

物理学会臨時総会要求署名のおねがい

去る5月5日朝日新聞紙上で、半導体国際会議に対し米軍から資金が提供されていた事実が報導されて以来、物理学会々員はもとより、広範な人々の間で急速に関心が高まつてきています。

最近、研究面での海外交流、特にアメリカとの交流が盛んになるにつれ、我国の研究者が軍関係資金に直接或いは間接に関与する機会が増え、そのなかで軍事研究への非協力に対する節操のきびしさがともすれはうしなわれがちになつてきています。

半導体国際会議の問題は今後物理学委員会、或いは学術会議のしかるべき機関で議論がなされるでしょうが、この機会に広く、物理学会々員の総意にもとづいて科学研究をおこなう基本的態度 — 戦争のための科学には協力しないという原則を確認し、あわせて今回の具体的問題について物理学会全体としての見解を出すべきと考え、別紙のとおり、総会請求の運動を行なう

ことに致しました。

さまさまの既成事実のつみかさねのまえに、慣れとあきらめによつて正しい立場を見失つていく危険性に対し、はつきりとしたけじめをつけておく必要があります。そのようにすることが、科学研究者の最低限の社会的責任であると考えます。

物理学会定款によれば総会請求に必要最小限は50名ですが、問題の性質上できるだけ多数の会員の署名をお願いしたいと思います。この署名は7月8日に提出します。

総会は8月末頃開かれると思われれます。

各地各大学などで請求署名及び決議の成立に御協力下さいますようお願い致します。

総会は8月末頃開かれると思われれます。

各地各大学などで請求署名及び決議の成立に御協力下さいますようお願い致します。

昭和42年6月14日

軍関係資金問題に関する物理学会々員

有志の会東京事務局

署名の送り先 東京都目黒区駒場町865

東京大学教養学部物理教室気付

軍関係資金問題に関する物理学会々員有志の会

期 日 7月7日(金) (7月8日提出)

なお通信費・印刷費などに約一万円かかりますのでそのカンパ(1口100円)をお願い致します。

発起人

相沢輝男，石川幸志，江尻有郷，太田周，川村清，木下紀正，小出昭一郎，近桂一郎，桜井明夫，高松邦夫，槌田敦，長崎浩，中村誠太郎，中山正敏，本田直文，村田浩，山本義隆，

総会に提出する決議案趣旨説明書

決議（案） 1 日本物理学会主催学術会議後援で，1966年9月に開かれた才8回半導体国際会議に対し米国陸軍極東研究開発局の資金が持ちこまれた事は遺憾である。

説明 1 a，日本学術会議は「戦争のための科学には協力しない」を基本原則のひとつにしている。

この基本原則は日本国憲法にもとづく日本の研究者の原則であり，世界の研究者に対する我々の誇りである。

b，日本物理学会および日本の物理学研究者の諸組織はこれまで米軍および自衛隊との関係について，常に慎重な態度を取ってきた。

c，今回，日本物理学会が米軍から資金援助を受けたことは客観的には，戦争を目的としている米軍への協力であり，日本物理学会の名誉をいちじるしく傷つけた。

決議（案） 2 半導体国際会議実行委員会が，日本物理学会にはかる事なく，上記資金の導入のごとき問題を決定した事は重大なあやまりである。

説明 2 a，軍との関係については，すでに1の説明で述べたように，これまでの物理学会は慎重にあたってきた。しかし今回実行委員会は茅氏と共に安易に米軍Cook大佐を訪問し援助を依頼した。

b，そして事の重大さを無視して実行委員会だけで決定し，物理学会会員にはもちろん委員会，委員長の意見さえ求めようとしなかった。

c，そのうえ米軍との契約書には学会の責任者でもない鳩山氏がサインし，日本物理学会の印を使用した。

d，米軍資金の受入れおよび使途に関して，会費報告をしなかった。

決議（案） 3 日本物理学会は今後内外を問わず，一切の軍隊からの援助そ

の他の一切の協力関係を持たない。

説明 3 a , 今後半導体国際会議への米軍資金導入のような事件を再び起さないために、この際物理学会として学術会議の基本原則を具体化して確認する必要がある。

b , 今回の事件は、米軍が日本の科学者に援助を行っており、一方物理学会会員の中にも「米軍から金をもろうことは悪いことではない。物理学を発展させることが大切なのである」という風潮があるために生じたものである。しかし、軍による援助は一面基礎研究を進める働きをすることがあつても、軍隊の性格からいつて、軍事目的に役立たせることを主目的として行われるものである。事実、米陸軍研究開発部長ベッツ中將は「米軍と非共産圏の科学界との関係を親密にするという有意義な利益をもたらしている」と米下院で証言している。

c , 「このような政治的問題を物理学会がきめるべきでない」という意見がある。しかし軍の援助を受け入れることを拒否するというもの、受け入れることを認めるというのもどちらも政治的な判断である。この程度の政治は物理学会を運営する以上避けることはできない。

決議（案） 4 日本物理学会委員会は今回の米軍資金を導入した仲介者および半導体国際会議実行委員に対し適当な処分を行なう。

説明 4 a , 仲介者および実行委員の処分は決議（案） 1 および 2 によつて当然である。

b , このことは仲介者および実行委員個人がこれまでにすぐれた物理学上の業績をあげ、しかも物理学会に対し大きな寄与をなしたことを考慮しても避けることができない。

c , 処分の範囲および内容は委員会が慎重に審議してきめるべきものとする。

物 性 研 究

第 8 卷 第 4 号

1967年7月20日発行

発行人 松 田 博 嗣

京都市左京区北白川

京都大学基礎物理学研究所

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

京都市上京区上長者町通室町西入

発行所 物 性 研 究 刊 行 会

京都市左京区岡崎徳成町11

有限会社 双 美 社 内

目 次

講義ノート

金属強磁性 IV 金森順次郎 215

固体物理 中嶋貞雄 223

談 話 室

日米科学協力について 物性若手グループ事務局(京大・理・物理) 258

固体物理における日米科学協力に対する声明 物性若手グループ総会 259

ニ ュ ー ス 267

プレプリント案内 268

編 集 後 記 271

号 外

物理学会総会に提出する決議趣旨説明書 有志 272

基研研究会報告

第二回 多体問題研究会 D1

目 次

講義ノート

金属強磁性 IV 金森順次郎 215

固 体 物 理 中嶋貞雄 223

談 話 室

日米科学協力について 物性若手グループ事務局（京大・理・物理） 258

固体物理における日米科学協力に対する声明 物性若手グループ総会 259

ニ ュ ー ス 267

プレプリント案内 268

編 集 後 記 271

号 外

物理学会総会に提出する決議趣旨説明書 有志 272

基研研究会報告

第二回 多体問題研究会 D1